

収支状況並びに正味財産の推移

〈第5号議案 参考資料〉

(単位：千円)

【単年度収支の推移】

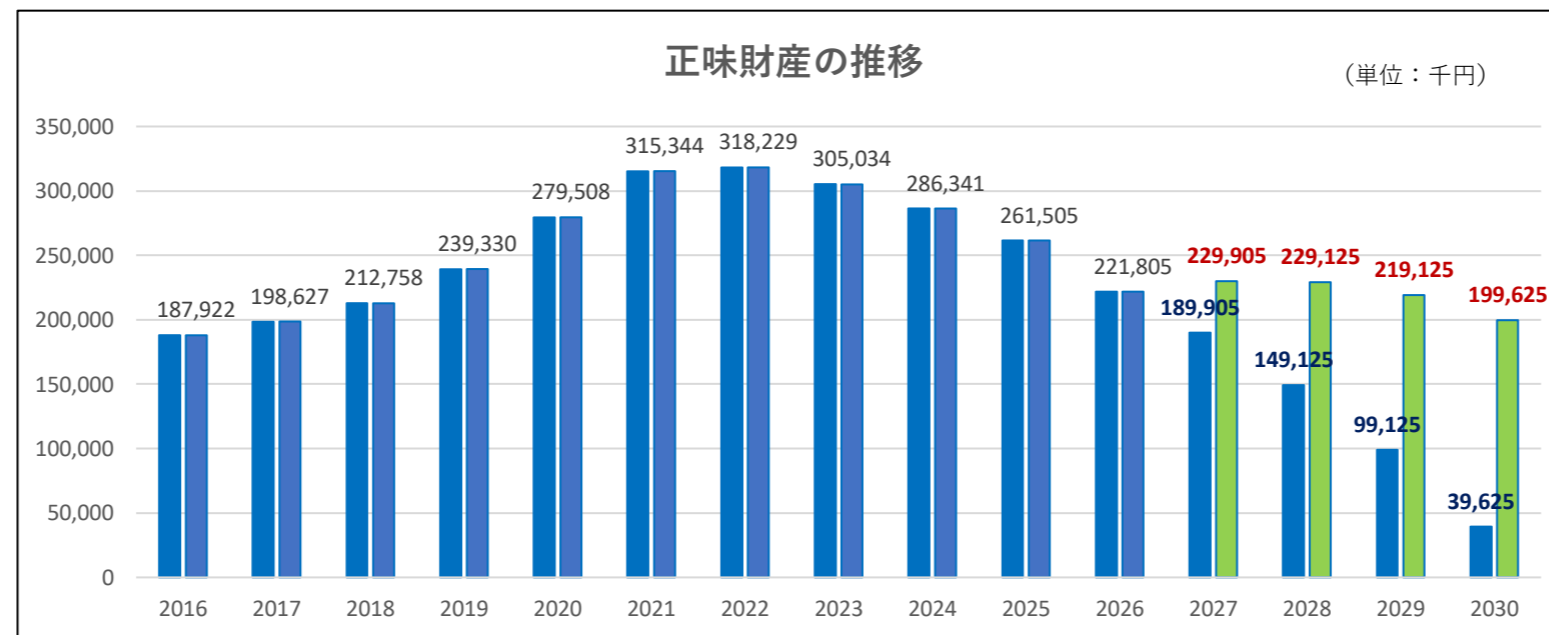
年 度	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
収入合計 (A)	299,739	298,239	299,013	298,383	290,392	297,536	295,975	298,685	296,930	295,570	301,200	341,200	341,200	341,200	341,200
支出合計 (B)	290,616	287,534	284,882	271,810	250,214	261,701	293,090	311,880	315,623	316,000	340,900	333,100	341,980	351,200	360,700
差引 (C)=(A)-(B)	9,123	10,705	14,131	26,573	40,178	35,835	2,885	-13,195	-18,693	-20,430	-39,700	8,100	-780	-10,000	-19,500
正味財産	187,922	198,627	212,758	239,330	279,508	315,344	318,229	305,034	286,341	261,505	221,805	229,905	229,125	219,125	199,625
会員数 (年度末)	1,018	1,023	1,026	1,023	1,012	1,008	1,013	1,008	994	998	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000
会費口数 (年度末)	2,000	1,992	1,995	1,997	1,961	1,998	1,989	1,972	1,954	1,949	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000

※2026年度以後はシミュレーション値

【シミュレーション前提】 2027年度より会費改定(15万円/口⇒17万円/口)/会員数1,000社(2,000口)

物価上昇率(2%増/年)、人件費(4%増/年)

※2026年度・給与額 104,900千円を基準に計算



- ※ ■ は現行水準 (15万円) 維持
- ※ ■ は会費改定 (15⇒17万円)

【会費及び正味財産の推移】

- ・1961年(会費 **3万円**・284社)⇒1971年(会費 **5万円**・625社)⇒1975年(会費 **10万円**・800社)
- ・1990年の正味財産は**7.8億円**であったが、1993年の会員数1,329社をピークに減少が続き、1997年22年ぶりに会費を**15万円**に改定。
- ・会費値上げの影響やバブル後遺症もあり、会員減少に歯止めは掛からず、2009年には738社、正味財産は**2.8億円**まで減少。
- ・2010年度より、各地の副会長のカも借りながら、第一次産業、学校法人、医療・福祉、IT関連等を中心に会員拡大を図り、2014年度に単年度赤字を解消、2016年度に会員数は1,000社まで回復したが、正味財産は**1.8億円**に減少。
- ・その後、コロナ禍による活動自粛もあり正味財産は2022年度に**3.2億円**まで増加するも、「ツール・ド・九州」実施に伴う支出増等により、2026年度末は**2.2億円**。
- ・今後、事業の見直しなどコスト削減に努め、収支改善を図るが、一方で、会場費はじめ諸物価の上昇が見込まれており、安定的な事業継続に向けて、**2027年度より会費を17万円に改定**
- ・上記シミュレーションでは、現行水準を継続した場合、2030年には正味財産は0.4億円まで減少するが、会費改定を実施すること正味財産は**2億円程度で推移する見込み**